（様式３）

パブリックコメント案件概要

案件名：（仮称）「水道・工業用水道ビジョンあまがさき（2020～2029）」の策定について

１．施策の概要

本市では、平成22年度に10年を期間とする「水道・工業用水道ビジョンあまがさき」を事業運営の指針として策定し、その将来像や基本目標のもと、水の安定供給と適切な事業運営に努めてきており、計画期間が令和元年度末を目標年次としていることから、令和2年度から10年間の新たなビジョンを策定するもの

２．施策策定（見直し）に至った背景・問題点など

人口減少社会の到来などの社会情勢を背景に、水道事業においては給水人口の減少や節水機器の普及などに伴う給水量の減少、工業用水道事業においてはユーザー企業の減少といった問題に直面しており、加えて施設の耐震性を確保していくということも非常に重要な課題となるなど、今後の経営環境はより厳しさを増していくと考えられる。

また、厚生労働省が新たに策定した「新水道ビジョン」（平成25年3月）においては、日本の総人口が減少に転じたことや東日本大震災の経験など、水道を取り巻く状況の大きな変化に対応していくため、強靭で将来を見据えた持続可能な水道を目指すこととしている。総務省では各公営企業において中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を策定し、将来にわたってもサービスの提供を安定的に継続していく必要があるとしている。

３．目指す姿・対応策など

両事業を将来においても安定的に継続していくためには、より長期的な視点に立ち、取組を進めていくことが重要となる。そこで、厚生労働省から事業者は30～40年程度の長期的な更新需要や財政収支を考慮すべきとされていること、また本市の人口ビジョンが2060年までの40年先を推計していることを踏まえて、今回40年先の将来像を見据えた、直近10年間の計画として新たなビジョンを策定することとした。

４．施策の対象範囲・期間など

対象：市民
期間：2020～2029年度（令和2～11年度）

５．市民意向調査の概要

平成30年8月1日から「基本情報」及び「政策形成プロセス計画書」を公表し、9月まで市ホームページ及び各地域振興センター等を通じて意見を募集したが、意見はなかった。

６．施策の検討経過

(1) 素案検討過程での主な論点

高度経済成長期に整備してきた施設の更新をはじめ、水需要の減少への対応や大規模災害への備えなど新たに様々な課題が生じている。その課題を克服していくためには今後の水道、工業用水道事業について利用者とともに考え、取り組んでいくことが大切であり、安定した水の供給を次の世代へ引き継いでいくことが非常に重要となってくる。本ビジョンでは、基本理念を「尼の水を 次の世代へ」とし、その実現に向けて「安全な水を安定して届ける」、「災害から守り、備える」、「将来へ事業をつなげる」という3つの目的を設定し、そのらの目的を達成するための各施策を審議会において審議した。

(2) 策定過程で比較検討した複数案の主な項目と反映理由

―

７．今後のスケジュール

令和元年9月6日～9月30日　市民意見公募手続の実施
令和元年10月～　寄せられた意見を踏まえ尼崎市公営企業審議会において審議・答申

８．添付資料

あますいビジョン2029（素案）の概要
あますいビジョン2029（素案）

９．お問い合わせ先

公営企業局水道部経営企画課　　〒660-8501 兵庫県尼崎市東七松町2丁目4番16号 上下水道庁舎3F
電話番号(TEL) 、ファクス(FAX) ・・・・・06-6489-7405、06-6489-7403
メールアドレス(Eメール) ・・・・・s_keieikanri@city.amagasaki.hyogo.jp